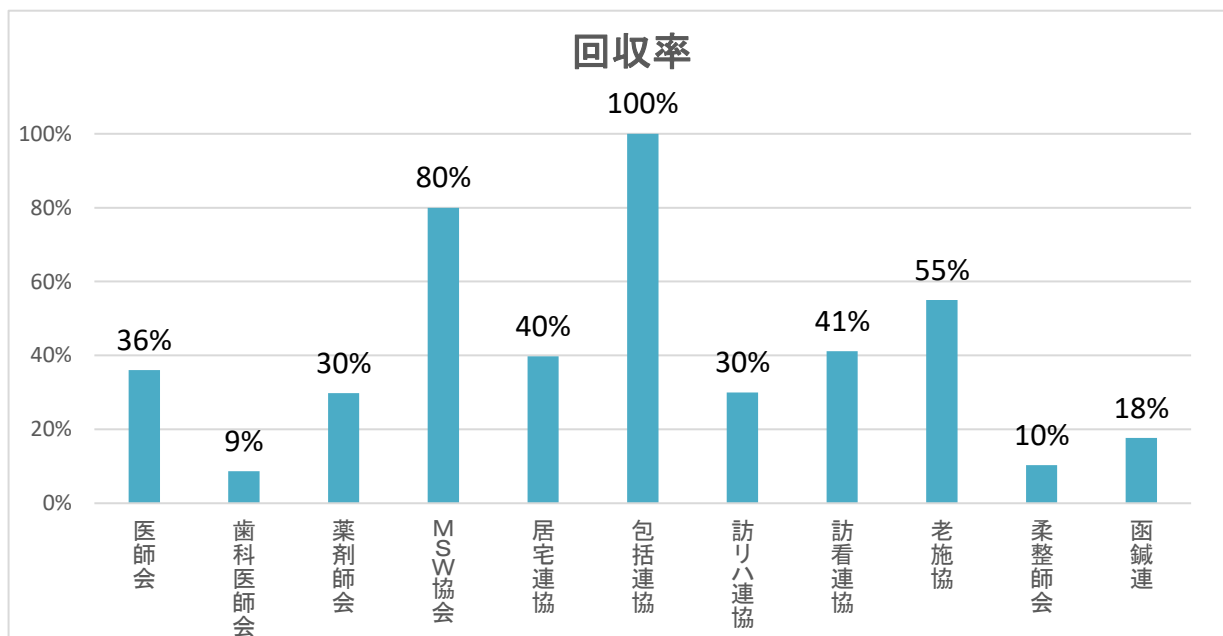


## 連携ルール作業部会 退院支援分科会

「はこだて入退院支援連携ガイド」に係るアンケート調査 集計結果 R1.12

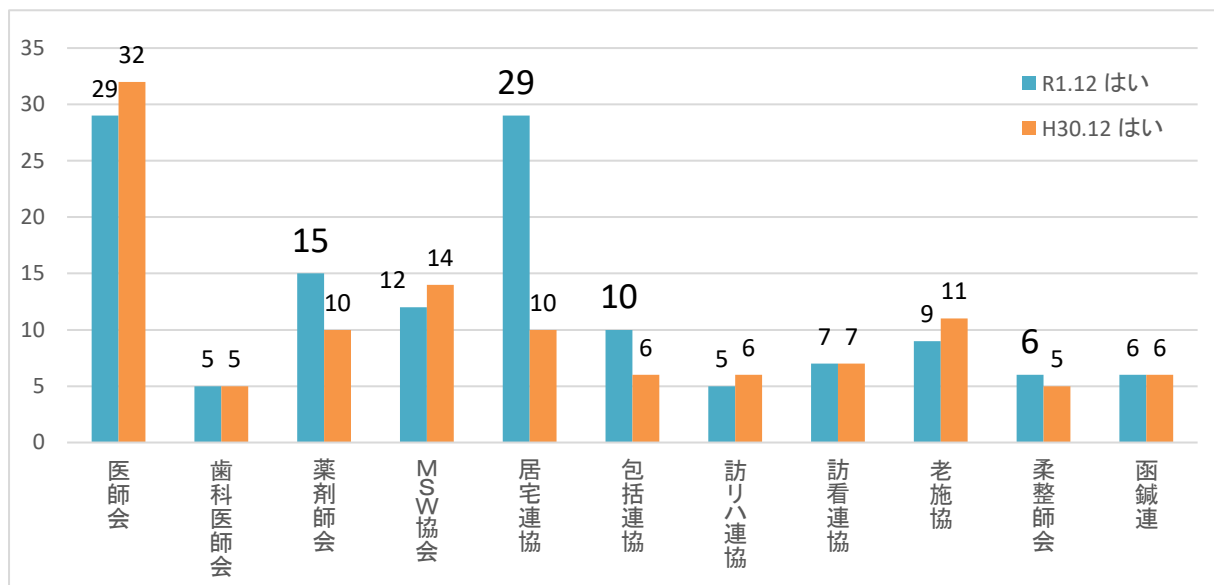
### 1. 貴所属機関等についてお聞きします

|       | R1.12 |      |      | H30.12 |
|-------|-------|------|------|--------|
|       | 配布件数  | 受取件数 | 回収率  | 受取件数   |
| 医師会   | 175   | 63   | 36%  | 54     |
| 歯科医師会 | 127   | 11   | 9%   | 9      |
| 薬剤師会  | 114   | 34   | 30%  | 13     |
| MSW協会 | 15    | 12   | 80%  | 15     |
| 居宅連協  | 78    | 31   | 40%  | 10     |
| 包括連協  | 10    | 10   | 100% | 6      |
| 訪リハ連協 | 20    | 6    | 30%  | 7      |
| 訪看連協  | 17    | 7    | 41%  | 7      |
| 老施協   | 20    | 11   | 55%  | 11     |
| 柔整師会  | 58    | 6    | 10%  | 5      |
| 函鍼連   | 68    | 12   | 18%  | 9      |
|       | 702   | 203  | 29%  | 146    |



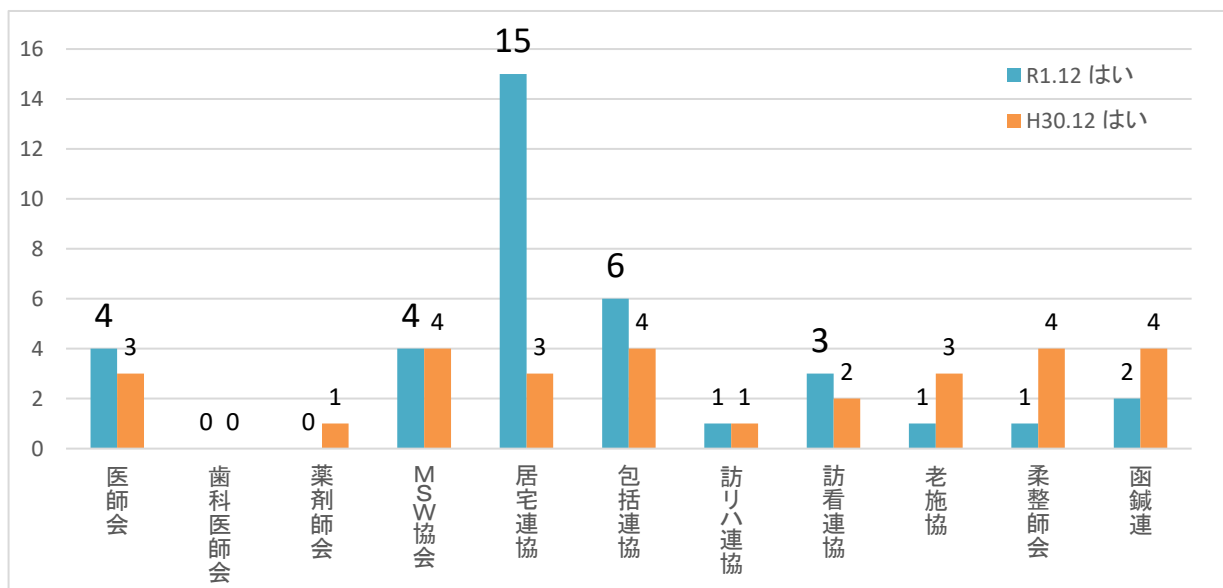
2. 貴所属機関等では、「はこだて入退院支援連携ガイド」（以下「連携ガイド」と表記）をご覧になったことがありますか

|       | R1.12 |     | H30.12 |     |
|-------|-------|-----|--------|-----|
|       | はい    | いいえ | はい     | いいえ |
| 医師会   | 29    | 34  | 32     | 22  |
| 歯科医師会 | 5     | 6   | 5      | 4   |
| 薬剤師会  | 15    | 19  | 10     | 3   |
| MSW協会 | 12    | 0   | 14     | 1   |
| 居宅連協  | 29    | 2   | 10     | 0   |
| 包括連協  | 10    | 0   | 6      | 0   |
| 訪リハ連協 | 5     | 1   | 6      | 1   |
| 訪看連協  | 7     | 0   | 7      | 0   |
| 老施協   | 9     | 2   | 11     | 0   |
| 柔整師会  | 6     | 0   | 5      | 0   |
| 函鍼連   | 6     | 6   | 6      | 3   |
|       | 133   | 70  | 112    | 34  |



### 3. ア 日常業務において「連携ガイド」を活用する機会がありますか

|       | R1.12 |     |     | H30.12 |     |
|-------|-------|-----|-----|--------|-----|
|       | はい    | いいえ | 活用率 | はい     | いいえ |
| 医師会   | 4     | 25  | 14% | 3      | 29  |
| 歯科医師会 | 0     | 5   | 0%  | 0      | 5   |
| 薬剤師会  | 0     | 15  | 0%  | 1      | 9   |
| MSW協会 | 4     | 8   | 33% | 4      | 10  |
| 居宅連協  | 15    | 14  | 52% | 3      | 7   |
| 包括連協  | 6     | 4   | 60% | 4      | 2   |
| 訪リハ連協 | 1     | 4   | 20% | 1      | 5   |
| 訪看連協  | 3     | 4   | 43% | 2      | 5   |
| 老施協   | 1     | 8   | 11% | 3      | 8   |
| 柔整師会  | 1     | 5   | 17% | 4      | 1   |
| 函鍼連   | 2     | 4   | 33% | 4      | 2   |
|       | 37    | 96  | 28% | 29     | 83  |



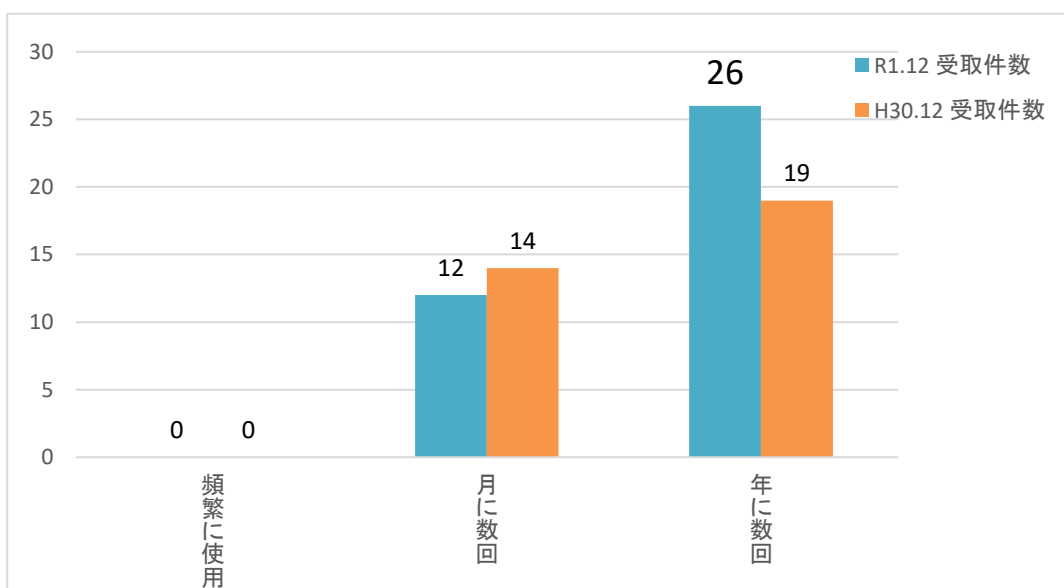
- 機会がなかった 24件
- 既存の業務に沿って、対応しているため活用していない 4件
- 連携について特に支障なく対応できているため
- 入退院支援にかかわらない 4件
- 現在、機会はないが、今後活用したい 3件
- 入院ベッドを置いていないこと 2件
- 連携先が決まっている 1件
- 最初に隅々まで拝読した（周知している） 2件
- こちらで活用しなくてもケアマネジャーがうまくやってくれる 1件
- 入退院については院内別部署が担当しているため 1件
- 入院後各病棟のSWがスムーズな介入をしているため 1件
- 大切なことは書かれていると思うが日々の業務内で活用するほど身近なものとなっていない 1件

#### 4. イ どのような機会に活用していますか

- 入退院連携が必要なケース支援時に確認 11件
- カンファレンスなどで使用している 5件
- 職員研修や実習生の受け入れ時の参考資料として 4件
- 患者さんの御家族から相談（入退院支援に関する）があったとき 3件
- 自己学習（入退院支援の場面をイメージする、他職種の理解など） 2件

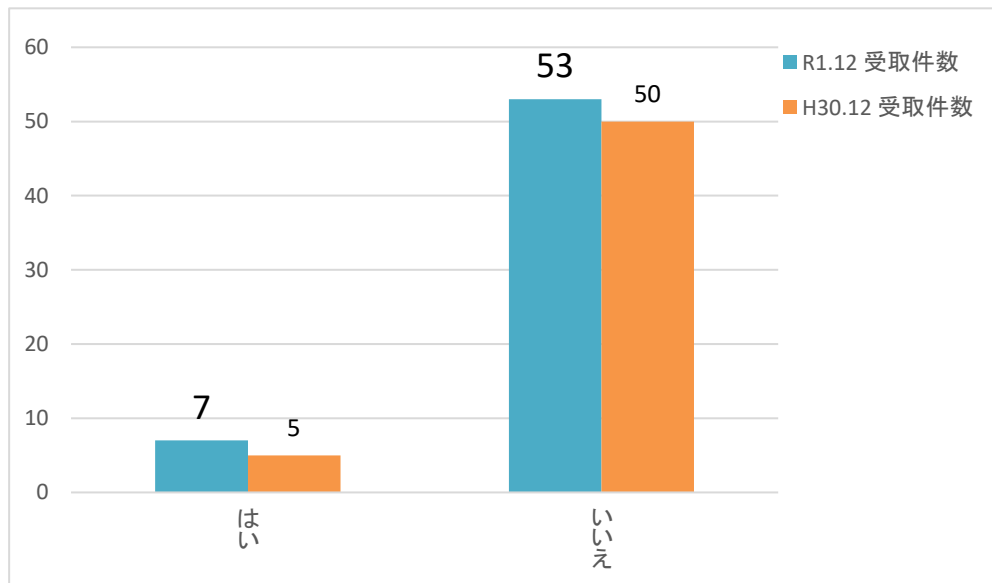
#### 5. ウ どのくらいの頻度でお使いですか

|       | R1.12 |     | H30.12 |     |
|-------|-------|-----|--------|-----|
|       | 受取件数  | 割合  | 受取件数   | 割合  |
| 頻繁に使用 | 0     | 0%  | 0      | 0%  |
| 月に数回  | 12    | 32% | 14     | 42% |
| 年に数回  | 26    | 68% | 19     | 58% |
|       | 38    |     | 33     |     |



## 6. 「連携ガイド」の内容について、見直しが必要と思われますか

|     | R1.12 |     | H30.12 |     |
|-----|-------|-----|--------|-----|
|     | 受取件数  | 割合  | 受取件数   | 割合  |
| はい  | 7     | 12% | 5      | 9%  |
| いいえ | 53    | 88% | 50     | 91% |
|     | 60    |     | 55     |     |



- 新たな情報や改正時には必要。余談ですが医療ソーシャルワーカーのイラスト顔が見た目嫌です。
- 医療機関側が在宅側（ケアマネ）から情報を頂く際、電話、FAXの情報提供方法ですと正直なところあまりメリットはありません。ケアマネに来院していただいて対面で情報提供いただくことで、はじめて加算算定できます。ガイドやルールで考慮いただきたいです。
- 在宅・施設のスタッフに薬剤師を加えていただけると在宅に薬剤師が関わっていることが少しでも認知されると思いますのでご検討していただければ幸いです。
- どんな時に利用または勧めるのかわからない。
- 退院時はいいのですが、転院の問題も取り込んで欲しい。
- 場所によってどこの包括センターか分かれば良いと思う。
- 必要時には使用させていただきたく存じます。
- 文字が多い印象～専門職同士が活用するものなので省けるところが多くあると思います。フローチャートが見にくい。フローチャートを工夫すると文字数を減らせるのかと思います。

|   |     |
|---|-----|
| イ どのような機会に活用していますか                              | 意見等 |
| 患者さんに御家族の入院後の事について相談頂いた際に。                      |     |
| 当施設で作成することはないが、新規利用時の情報提供として連携ガイドを受けとっている。      |     |
| 退院時の情報としてもらう                                    |     |
| フローチャートや退院支援における連携のあり方に参考にさせていただきました。           |     |
| 居宅内及びサービス事業間まで家族等への説明などに活用しています。                |     |
| 退院時の流れの確認等                                      |     |
| 入他院時、カンファレンス時等                                  |     |
| 家族等への情報提供                                       |     |
| 入退院される利用者さんがいるとき                                |     |
| 入退院の際に活用しています                                   |     |
| 入他院支援、医療・介護の連携等の研修の時に活用しています                    |     |
| 入退院支援が必要な方が発生した場合                               |     |
| 入院時の情報提供や訪問看護等医療系サービス依頼の時                       |     |
| 入院時   |     |
| 入退院支援が必要な方が発生した場合の手引きとして                        |     |
| 連携のための基本的なマナー等をガイドを活用し研修しております。                 |     |
| 少しでも地域のためになればと参考にしております                         |     |
| 入退院のタイミングで関わる事が無い為                              |     |
| 今後活用する機会があれば使っていこうと思っています。宜しくお願い致します。           |     |
| 医療と介護の連携推進のための基本マナーを読み、在宅で多職種の方々とお会する時に役立てています。 |     |
| 転院や退院支援等  |     |
| カンファレンス時確認                                      |     |
| 在宅医療や入院医療の検索や研修情報収集のため                          |     |
| 退院調整の手引きとして                                     |     |
| 入退院支援が必要な方が発生した場合の手引き                           |     |
| 入退院時  |     |
| 退院前カンファレンスのタイムテーブル例を参考にします。                     |     |
| 包括支援センターへの連絡時に使用                                |     |
| カンファレンス準備に参考になっております。                           |     |
| 利用者が入退院する際                                      |     |
| 研修の紹介など、GWに使用                                   |     |
| 新規依頼時の情報提供や退院時のサマリー、情報提供時                       |     |
| 事業所職員の啓発  |     |
| 自身の入退院支援の調整時に確認しています。また、職員から相談をうけた際に活用しています。    |     |
| 特にフローチャートを参考にしています。                             |     |
| 研修会・退院ケースがあるとき                                  |     |
| 実際の支援時ではなく確認や検証に活用している。                         |     |
| 各病院の退院時の連携方法を確認させていただいています退院時の流れ、退院時のカンファレンス    |     |
| 退院カンファレンス                                       |     |
| 実習生の指導時   |     |
| ケアマネへの引継ぎや退院時                                   |     |

意見等

アセスメントとして使用することを習慣にすれば良いと思うのですが、ソフトに入っているものを使ってしまいます。来年度の課題にしたいと思います。

新たな情報や改正時には必要。余談ですが医療ソーシャルワーカーのイラスト顔が見た目嫌です。

医療機関側が在宅側（ケアマネ）から情報を頂く際、電話、FAXの情報提供方法ですと正直なところあまりメリットはありません。ケアマネに来院していただいて対面で情報提供いただくことではじめて加算算定できます。ガイドやルールで考慮いただきたいです。

在宅・施設のスタッフに薬剤師を加えていただけると在宅に薬剤師が関わっていることが少しでも認知されると思いますのでご検討していただければ幸いです。

どんな時に利用または勧めるのかわからない！

退院時はいいのですが、転院の問題も取り込んで欲しい

連携サマリーになるのですが、内容を少しまとめていただいて、基本ツールを中心にもう少し大きく見やすくして頂けると助かります。

場所によってどこの包括センターに分かれば良いと思う

必要時には使用させていただく存じます

項目数を最小限度にする

文字が多い印象～専門職同士が活用するものなので省けるところが多くあると思います。フローチャートが見にくい。フローチャートを工夫すると文字数を減らせるのかと思います。